

総合文化センター「パルナス」で1月9日(日)に成人式が開催され、対象者119人のうち42人の新成人が参加しました。

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていました。開催にあたって、直近2週間の健康状態などを記した書類の提出を求めたほか、会場内での検温と手指消毒、マスクの着用などの感染症対策が徹底されました。

第1部で米塚教育長は「仲間とともに学び、育ったことを誇りに思い、輝かしい道へと進むことを願っています」と述べ、町長は「たくさんの方々との出会いに感謝しつつ、自分のやりたいことなどを考える機会にしてほしい」とエールを送りました。新成人を代表して加藤優成さんは「ここまで支えてくれた家族や恩師、仲間感謝し、これからも前へ進んでいきたい」と誓いました。

第2部では小学校・中学校の時の恩師である先生方からのビデオレターが上映され、お世話になっていた先生方からのメッセージに新成人たちが涙を流す様子も見られました。

式典前後には、友人との再会を喜ぶ姿や写真を撮る姿が見られました。



兼任集落支援員が活躍！

新町2でゴミ集積場所を整備



新町2の兼任集落支援員である太田美友さんが、同行政区のゴミ集積場所7か所のうち、町が整備していた2か所を除く計5か所を整備しました。

去年10月に行ったアンケートで特に多かった意見が、ゴミを置く場所がなく、「毛布を掛けていたが動物による被害が多い」「雪が降ってくると雪をどかさないと毛布を掛けられない」というものでした。

このことから、太田さんはゴミ集積場所に隣接する住民や元大工の近所の人に

自ら交渉し、集積場所に小屋を作りました。住民からは「最高だ！」と喜びの声がたくさん寄せられたそうです。また、残った予算は除雪作業の手伝いに回し、高齢者の一人暮らしで雪かきが難しく、隣・近所で手伝えない場合の手伝いを募集しました。

太田さんは「周りの人が協力してくれたおかげで完成することができた。来年度は自分たちの住む地域がもっと快適になるように頑張りたい」と来年度の意気込みを話していました。

